

平成 22 年 11 月 30 日

各 位

大阪府東大阪市岩田町 2 丁目 3 番 1 号

タツタ電線株式会社

機能性フィルム京都工場第 2 期投資に着手

タツタ電線株式会社（本社：大阪府東大阪市、代表取締役社長：木村 政信）は、このたび電子材料事業の好調を受け、当初 2012 年（平成 24 年）に予定していた機能性フィルム京都工場（京都府福知山市長田野町）の生産および開発設備増強を、概要下記のとおり、1 年前倒しで実施することといたしました。

記

1. 設備投資の概要

- ・導電性ペースト製造装置 1 式
- ・高速型精密コーティング機 1 ライン
- ・高周波伝送測定装置、シールドルームおよび関連評価設備 一式

2. 投資金額

- ・約 5 億円（機械設備、付帯設備、工事込）

3. 生産能力（第 2 期投資分）

- ・汎用 FPC 用電磁波シールドフィルム 20 万 m²/月・25 日

4. 竣工予定

- ・2011 年（平成 23 年）4 月予定。なお、建屋については 1 期工事の際にスペースを確保済み。

5. 増強後の合計生産能力

- ・合計 60 万 m²/月・25 日（京都工場 40 万 m²、大阪工場 20 万 m²）

6. 今回の増強投資の背景

- ・西暦 2000 年（平成 12 年）に販売を開始した FPC（フレキシブルプリント基板）用電磁波シールドフィルムはその後の携帯電話機の市場拡大とともに需要が増大してきましたが、現在では、さらに市場拡大が著しいスマートフォン向けの需要も伸長してお

ります。

- 加えて、導電機能性フィルム製品も多様化しており、多頻度小口生産への対応も視野に入れることが必要となってまいりました。
- 一方、携帯端末メーカーからは高周波解析に基づく製品開発への要求が年々高まってきており、タツタ電線として **60** 余年にわたる通信ケーブルメーカーとしての蓄積された技術を生かし、「解析に係る人材」、「機材」の両面から更なる強化を図ることとしております。
- また、足下では韓国向けの需要が急増しており、今回の生産増強分は韓国FPCメーカーへの潤沢な生産、供給体制作りに大きく寄与することが期待されます。

以 上

本件に関するお問い合わせ先：

タツタ電線株式会社 システム・エレクトロニクス事業本部 管理室長 柴田

TEL 06-6721-3321 tetsuya-shibata@tatsuta.co.jp